

いーーいの家通信

こどもの杜 いこいの家

静岡市葵区城東町二四番一號 TEL二四九・三一九〇

令和8年1月1日
No. 521

お母さんの詩

「あなたはあなたでいい」

Sくん(5歳)のお母さん



Sは、2020年2月6日に生まれました。現在5歳になりました。Sの誕生は、私たち家族にとって待ち望んだものでした。Sが生まれて間もない時期に兄の診断が確定し、家の中は慌ただしく、兄のことで毎日が手いっぱいでした。そんな中で、Sは穏やかで育てやすく、「この子は大丈夫かもしれない」と、どこかで自分に言い聞かせていたのかもしれません。しかし、1歳半の健診で「言葉が出ていない」と指摘を受けました。すでに兄の障害が明らかになっていたこともあり、迷うことなく療育へとつなげることができました。言葉は出ていても、兄に比べると手がかからず、落ち着いているように感じました。け

れど、それは兄にかかりきりで、Sをじっくり見つめる余裕がなかつただけなのかもしれません。それでも、早期に療育につながったことで、Sは思つていた以上スピードで成長を見せてくれました。少しずつ言葉が増え、表情も豊かになり、気持ちを伝えてくれる場面が増えてきました。

そんなSの姿を見て、私は無意識のうちに、兄と比べてしまふことがあります。

「あなたはできるかもしれない」「なぜわからないの?」「お兄ちゃんには伝わらないけど、あなたにはきっと通じるはず」— そんな期待を、気づかぬうちに背負わせてしまつっていたように思います。でも、本当は、比べるものではないのだと思います。SはSであつて、兄とは違う。



もまた、ゆっくりと成長していくにあればならないのだと、日々痛感しています。



明けましておめでとうございます！



新たな一年がスタートしました。今年は午年。颯爽と駆ける馬のように、これまでの経験をエネルギーにして、飛躍の年にしたいものです。

さて、一年の始まりの1月に『第41回 静岡県手足の不自由な子どもの絵画・写真展』（主催：静岡県肢体不自由児協会）が開催されます。いこいの家からも、通園されているお子さんの作品を毎年出品しています。昨年の話になりますが、12月には知的障がいのある方々が創作した絵画等の作品を展示する『第34回愛護ギャラリー展』（主催：静岡県知的障害者福祉協会）が開催され、いこいの家の子どもたちも、運動会やクリスマス会の練習、準備と平行しながら、ふたつの展覧会への出品を目指して、制作活動に取り組んできました。こどもたちの得意なこと、好きなことを考慮しながら、こどもたちと一緒に楽しく取り組めるテーマを考え、それぞれの個性が光るとしても素敵な作品が完成しました。愛護ギャラリー展への出品の為、完成した作品を展示会場へ搬入し、展示の準備をしていると、次々に県内から集まった作品が展示されていきました。いこいの家の作品も含めて、展示されていく作品をみていると、どの作品からも、コツコツと時間をかけて作業を積み重ね、ひとつの作品を作り上げていることが伝わってきて、とても感動しました。愛護ギャラリー展は終了しましたが、手足の不自由な子どもの絵画・写真展は1月19日から始まりますので、みなさん、ぜひ直接作品を見にいらしてください。このような素敵なイベントや作品をきっかけに、地域の方々とのつながりや支援の輪が広がっていくことを願っています。

これまでを振り返ると、今年度51周年を迎えるいこいの家も、本当にたくさんのお子さん、ご家族と出会い、関係機関の方々、地域の方々にお力添えをいただき、そのつながりの輪に支えられてきました。実習をきっかけに保育ボランティアに参加してくださった方や、長年にわたり保育ボランティアを続けていただいている方、保育ボランティアをきっかけに現在はスタッフとして働いている職員もいます。12月には雙葉学園さんがクリスマス訪問にいらして、中学生・高校生の生徒さんたちによる素敵な歌やダンス、絵本の読み聞かせをしてくださいました。このような交流の機会は少ないので、こどもたちもとても楽しそうでした。職員としても、こどもたちが生徒さんと楽しそうに過ごしていることが、何よりも嬉しかったです。また、伊勢丹の労働組合の方々からは毎年クリスマスプレゼントをいただきしております、今年度もたくさんのおもちゃをいただきました。この他にも、散髪ボランティアさん、いこいの家をかわいらしく彩ってくださる壁面装飾ボランティアの方々など、ここでは伝えきれないくらい、多くの方々がいこいの家に関わってくださっています。そんないこいの家のこれまでを振り返る『いこいの家50周年記念誌あゆみ』が昨年11月に完成し、記念誌を制作してくれ中でも、こうしたつながりの大切さを再確認しました。人と人とのつながりが希薄になっていると言われる今の時代だからこそ、こうしてできたつながりを大切に、感謝の気持ちを忘れずに、これからも地域の中でこどもたちを支えていくお手伝いができればと思っています。『いこいの家50周年記念誌あゆみ』はいこいの家のホームページに掲載していますので、ぜひご覧ください。

今年も、元気いっぱいのこどもたちといこいの家をどうぞよろしくお願ひいたします。

児童発達管理責任者 小山 由夏



～新しいおもちゃの紹介～

いこいの家のおもちゃプラザに新しいおもちゃが仲間入りしました♪

車や新幹線のおもちゃ、音が鳴るおもちゃ、動物の鳴き声がするおもちゃ、アンパンマンのおもちゃも！
気になるものがあればぜひ遊んでみてください☆



【アンパンマンわくわくゲームマット】



【アンパンマンおしゃべりミキサー】



【カース DIY ツールセット】



【おしゃべい動物図鑑】



【走る！新幹線 E5 系はやぶさ】



【サウンドクラウンパトカー】



【サウンド&ライト都営バス】

おもちゃプラザの利用時間は9:30~15:00

いこいの家通園児・親子教室参加児さんは、貸し出し可能です。気になるおもちゃがあったらぜひ、遊んでみてください！

大切に使ってね♪



【カラフルマジックタッチドラム】



11月22日（土）に、いこいの家まつりが開催されました。昨年に引き続き、通園児、親子教室の皆さんや、卒園児さん、近隣の保育園のお子さん達や地域の方等、様々な方が遊びに来てくださいました。今年のメインは、“音楽でつながろう”をテーマに卒園児さんによる楽器演奏のステージ発表を行いました。沢山のお客さんの前で、卒園児さんもちょっと緊張した表情をしていましたが、頑張っている素敵な姿を見せてくださいました。卒園児さんの元気な姿を見て、それぞれの所で活躍されているお話をうかがえ、職員も嬉しかったです。今後も皆さんに愛される「いこいの家」であり続けられるよう、励んでまいります。これからもよろしくお願ひいたします。

ご協力いただいた出店団体の皆様、ボランティアの皆様、ありがとうございました。



pine village 株式会社様
提供

